

吾妻中学校だより

第2号 吾妻中の庭：汗をかく心地よさ

5月29日 文責 富樫

○ 自ら学ぶ生徒

○ 心豊かな生徒

○ 体たくましい生徒

失って気づく（当たり前の有り難み）

子どもたちが学校にきて勉強や運動をする。そんな当たり前の日常が失われていました。けれど25日（月）から授業が再開され、元気に授業に臨んでいます。来週からは部活や学校行事を少しずつ通常に戻そうと考えています。（詳細は本日配付の文書）新型コロナウイルスへの感染リスクを軽減するため新しい生活様式①身体的距離の確保②マスクの着用、③手洗い を推進していきます。今回、身の回りにある当たり前を大切にしていかなければと痛感しました。



なぜだろう

なぜ塩化銅水溶液に電流を流すと陰極と陽極に変化がみられました。なぜそうなるんだろう？モデルを使って現象を説明できるかみんな一生懸命考えていました。なぜそうなるのかいろんなことに疑問を持つこととても大切です。3年生の理科の授業の一コマでした。



夢をもとう（自分のほしいものを探そう）

昨日までできなかったことを理由にはいけない。たとえ昨日50m9秒台だったとしてもやり方を変えたり練習することで1ヶ月後は7秒台で走れる可能性がある。それが中学生です。勉強だって同じで昨日できなかった問題でも何回も繰り返したり、他の人に聞いたりすればできるようになる。そんな粘り強さを身につけて夢を次々と叶えてほしいと思います。

それでも粘りきれないとき

何にでも挑戦し頑張っていると何か調子がでないときもあります。そのときは友達やお家の方や先生に愚痴（相談）をいうこともあっていいと思います。涙を流してもいいと思います。そして心の健康をしっかりと保ってください。



※以前先輩の先生のことばから・・・愚痴をいっても悪口いうな

チャイムがならない

今年度はノーチャイムで生活しています。みんな授業に遅れることなく上手に過ごしているようです。時間を守る。時間に余裕をもつこと、当たり前のことがしっかりできています。今までのように時間に余裕をもって登校していれば交通事故を起こさなくてすみます。これからも時間を意識し上手に使えるようになればと思います。

ちょっといい話（インタビュー編）

子どもたちにインタビューしてみました。「何かちょっといい話あるかな」そう尋ねると一生懸命思い出してくれました。その表情がとてもいい表情で素直さが私に伝わってきました。その何気ないやりとりが私の心を癒やしてくれました。その中で出た話をあげると、

- ・「校庭の砂場のシートがはがれそうになっているとき近所の人が直してくれたんだよ」という話を先生から聞きました。（感謝ですね）
- ・ある中学生が犬の散歩をしているとき道路のゴミを拾っていました。（なかなかできないですね）
- ・ある先生からは授業の準備を自分たちで考えて動いてくれました。（成長してますね）

